



首都へ

さて、大分間があいてしまいましたが、久々に更新します。11月の首都訪問について話をしようと思います。パプアニューギニアで活動する JICA ボランティアは、年に一度安全対策会議といった名の通り、異国の生活での自己防衛や安全対策について講義を聞いたり、話し合いを行ったりします。また、今年は同時にジェンダーについて考える会議や教育分科会を行いました。そして、新隊員7名がPNGに赴任し、隊員の人数が17名になりました。この同志たちと力を合わせ、PNGの発展に寄与していきたいと思っています。

① 安全対策会議

JICA ボランティアが派遣される国は、開発途上国であり、日本と比較すると安全性が低い地域がほとんどです。PNGも治安は決して良いとは言えませんが、ほとんどのPNG人は優しく思いやり深い人ばかりです。しかし、PNGを取り巻く社会情勢や環境が、犯罪増加や治安悪化を助長しているように感じます。そこで、私たち隊員が安全安心に生活し、活動に取り組めるためにこのような会議が必要になります。あくまでも、「自分の身は自分で守る」ことが大切であり、活動の基盤として「安心・安全に生きる」ことは最重要事項として、意識しています。現在活動地のポボンデッタでは、大家さん家族やその親戚、学校の子どもたちをはじめとする多くの人たちに見守られ、生活しています。みんなすれ違う度に、「アビヌーン」「アワラ」と言いながら握手をします。とても温かいコミュニティーです。



② ジェンダー講義

講師の方を招いて、活動を交えた「セクシャルミスコンダクト」についての講義を受けました。具体的には、「性的搾取」「性的虐待」「性的ハラスメント」の定義やそれぞれの違い、どのような被害が及ぶのかなど詳しく学びました。国際協力において、その立場を理解し、支援をしていく人々を尊重して、正しく関わりをもつことが大切だと思いました。

③ 教育分科会

PNGには、新隊員を加えて7名の学校現場で働く、もしくは教育に従事している隊員がいます。そこで、今回は既に活動を行っている隊員が活動報告を行い、新隊員はその活動の様子を聞きました。3か月ほどしか活動していないですが、現場で学んだことや解決すべき課題、どのように支援していくかなど様々なことを考える機会になりました。どの隊員も「PNGの子どもたちにより良



い教育を受けてほしい」「教育を変える」という熱い思いをもっている方々です。今年度は様々な課外活動、現職教員研修、イベントの開催などに取り組んでいきたいと思っています。私たちの活動が少しでも PNG の教育に影響を与えられれば、子どもたちの未来を明るく照らせれば、と思います。

【首都に行くときは…】

① 飛行機移動が大変…

日本では、隣の県や少し遠方に行くときには自動車や電車、バスを使用します。しかし、PNG は移動手段の主流は“飛行機”になります。こんな感じのプロペラの飛行機に乗ります。(たまに、ジェット機の時もあります) なんと、私が活動しているポポンデッタまでは 30 分未満。上空からの PNG を楽しんでいる内に、すぐに到着します。首都があるセントラル州とポポンデッタがあるオロ州は隣接していますが、間には高い山々があり、2つの州を繋ぐ道路が設備されていません。首都に行くのに、片道約 420~460 キナ(2万円くらい) もします。もっと遠くて活動している人たちはこの倍以上かかります。さらに、問題がもう一つ。飛行機の遅延欠航が多発することと、空港が異常なほど混むということです。国内便は、早朝から動いていますが午前3時過ぎに空港に到着すると、空港の外に行列が…。それを抜けても荷物検査に行列に並びます。例えるなら、ディズニーランドの人気アトラクションを並ぶ時間とほぼ同じでしょう。飛行機での国内移動が主流のため、本当に多くの現地の人たちが飛行機を使用するためです。そして、この行列の結果、搭乗時間に間に合わず、何度も名前をコールされるのはほぼ毎便のこと。私がポポンデッタに初めて行った時も何度もコールされました(笑) また、天候の影響や燃料不足などあらゆる問題で飛行機がよく遅延・欠航します。もし、PNG に旅行に来る際は余裕をもって行動しましょう(笑) Unpredictable country (予想できない国) という名前が本当にしっくりくる国です。

② 首都で買い物&レストラン

首都は、以前お伝えしたように、徒歩移動はできませんが JICA のバスを使用して、ショッピングモールに買い物に行くことはできます。クリスマスシーズンだったので、立派なクリスマスツリーが立っており、ショッピングモール内もクリスマスムード一色でした。地方では購入できないものが、首都にはたくさん売っており、ショッピングも一つの楽しみです。また、ポポンデッタには数件しかないレストランも、首都にはあらゆるオシャレなレストランがあります。地方暮らしも楽しいですが、たまに首都で少しだけ自分にご褒美の時間を与えることも大切です(笑)
次に首都に帰るのは半年後? 地方で楽しく頑張ります。

